

津山市史の文書調査

尾松美早都

1. 津山調査について

文化情報学ゼミでは、2015年度から、岡山県津山市の市史編さん事業の一環として資料整理の調査協力を行っている。2017年度は、津山郷土博物館にて、尾島治館長（当時）、東万里子学芸員らの協力のもと、2018年3月13日（火）～15日（木）の3日間にわたり古文書の調査を実施した。作業内容としては、近世・近代文書の目録作成と写真撮影であった。2日目からは、地元の高校生も参加して調査を行った。

2. 調査参加者

東昇（教員）、水野拓也（4回生、学生学年は2017年度、以下同）、有賀陽平（3回生）
尾松美早都・酒向あやか・瀨本めぐみ・善積沙耶子・米澤千春（2回生）

2. 調査内容

3日間をとおして主に文書目録を作成し、史料読解とエクセルに入力する担当に分かれ、それぞれ作業を行った。調査の対象となった史料は、近世近代の神社・個人所蔵の文書であった。史料の読解は、各人の読解能力にあわせて史料を選び、タイトル・年月日・差出・宛所・史料の概要などといった基本的な事柄を読み取り、手書きで目録を作成した。その後、各目録を通し番号順にエクセルに入力し、データを作成した。史料は多岐にわたり、なかでも近代（明治初期）の教科書や神社・祭事に関する道具帳、近世京都や江戸の情報が記された書状、各家の出生届や死亡届などが確認された。

また、2日目は博物館での調査終了後に尾島館長の自宅へ伺い、豊臣秀吉にまつわる文書のほか、絵巻物や掛け軸などの貴重な史料を間近で拝見することができた。



写真1 目録作成の様子